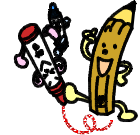


学習指導だより NO.4

H28.7.20

下野市立吉田西小学校

まなび



今年度の研究テーマ（学校課題）～第2回研究授業を終えて～

学ぶ楽しさを実感し、自ら学ぶ児童の育成

～言語力を高める指導法の工夫改善を目指して～

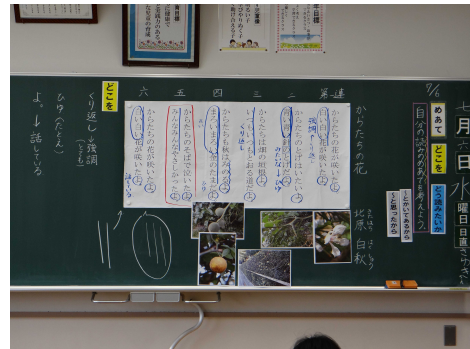
7月6日に2回目の研究授業が行われました。

5年生 国語「からたちの花」の詩を教材とした授業でした。詩の情景や詩に込められた作者の思いを深く想像し、自分の思いや考えが伝わるように読むことができるようにすることがねらいです。くり返しや比喩など詩に用いられている表現の工夫や効果にも、気づいて読むことが必要となります。

言語力を高めるための手だてとして

①言葉の共有

「からたちの花」の確認やイメージ化を行うときに、実物や写真などを目で見たり、触れたりすることで、知らなかった言葉が自分のものとなりました。また、全員で同じものを共有することができ、詩に描かれた情景をとらえるための大切な活動でした。



②詩の技法に着目し読み取る過程の重視

五音・七音の言葉リズムやくり返しや比喩など、詩に使われている技法に着目しながら読み進めていました。読みながら、その工夫はどんな効果をもたらしているのかを考えることにより、ねらいに迫りました。

③根拠を持った音読

「どこをどのように音読するのか」「なぜそのように音読するのか」を明確にして音読練習を行いました。ペアになって、お互いに聴き合う活動もしました。



④読書環境の整備

北原白秋の詩や、五音・七音のリズムや比喩などの表現技法が使われている詩を選んで教室に置いておき、いつでも手にとって読めるようにしました。いろいろな詩を読むことで、日本語の言葉の響きの美しさを再認識させていきたいものです。

長文は苦手、というお子さんにも詩は読みやすいと思います。想像力を働かせることも必要になってくる詩もあります。教科書に出てきた詩だけでなく、たくさんの詩も読んでみよう、ご家庭でも声をかけてください。